

精華女子高等学校 専願入学試験問題

国 語

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 字数指定の問題については、句読点・記号などあれば、字数に含みます。

受 験 番 号	氏 名
番	

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(ただし、問題の都合上、一部改変したところがあります。)

①「個」の意見と存在が尊重される多様性社会

多様性の価値を認めない社会、すなわち多くの人が同じ意見でまとまってる社会というのは、「個」が尊重されない社会です。個々に違う意見をもっているからこそ、それぞれの意見を聞く必要が生じるわけで、それによって一人ひとりの価値や個性をお互いが認識するのです。みんなが同じ意見なら、誰か一人に聞けばそれで済み、そのことで全体の意見が代表されるというコウ率性^aはあるかもしれませんが、実際には全員がまったく同じ意見などということはあり得ないでしょう。それはみなさんも日々経験しているはずです。まったく何のセイ限^bもなかったとき、全員の意見がびったり一致するなどということはないのではなかろうか。本当は微妙に違うこともあるのだけれど、みんながだいたい同じように考えているのであれば、自分もそれでいいや、それに揃えよう。よほど大切なことでなければ、自分が著しく不利になるのでなければ、細かな違いには目をつぶっておこう。それが正直なところではないのでしょうか。

そして何より問題なのは、もし一人の人に意見を聞いて、それで済んでしまうのであれば、聞かれた以外の人の存在意義が希薄になってしまふということですよ。AさんがAさんである価値、BさんがBさんである価値を見出すことが難しく、それはつまり、私たち一人ひとりの価値がおざりにされるといふことにほかなりません。もし私がいなかったとしても、私と同じ意見のほかの人がいればそれでいいということになりかねません。もちろんそんな状態は、誰も望まないでしょう。私は私、ほかの誰によっても置き換えられる存在ではありません。

でも、私なんてそんな大した存在じゃないと思う方が、もしかしたらいるかもしれません。それでは、あなたの大切な家族や友だちを、ほかの人で置き換えることができるでしょうか？ もちろんできませんよね。あなたが、あなた以外の人で置き換えられないのは、それと同じことです。

自分が自分らしくあることに後ろ指を指されない、自分の選択がたとえ少数派だったとしても尊重される、自分という人間の価値が認められる——多様性社会^③というのは、社会としての持続力があるのとどまらず、それを構成する一人ひとりにとって、居心地のよい、ストレスのない社会なのです。自分が自分である意味を強く実感できる社会だともいうことができるでしょう。

多様性社会の心地よさをイメージするには、たとえば小学生のランドセルの色を考え

るとわかりやすいかもしれません。

少し前まで、ランドセルの色といえば、男の子が黒、女の子が赤と、暗黙の了解がありました。

(中略)

ところが、ここ数年でランドセルの色をめぐる状況が大きく変わりました。ピンクやブルー、パープルといった、それはそれはカラフルなランドセルが続々と登場し、黒や赤にこだわる必要はなくなりました。

それぞれが、本当に好きな色を選ぶことができるようになったのは、たくさん色のランドセルがお店に並んでいるからという物理的な事情もありますが、それ以上に、何色でも好きな色をもつことが認められているという前提があるからです。赤をもっている子がピンクをもっている子を、色が違っていることが理由で批判することはありません。

もしかすると、定番といわれる赤をもっている子どもが大多数かもしれませんが、それは、赤が多数派というただそれだけのことで、ピンクが間違っている、ということではありません。「何色をもつことも、お互いに認め合っている」という前提があれば、少数派の色をもつこともストレスになることなどありません。B「ピンクをもっている子」と呼ばれたとしても、そこにそれを排除しようという響きはなく、むしろ、その個性を尊重した呼び方だといえるでしょう。だから誰もが、なにもものにも縛られず、自由に自分が本当に好きな色を選択できるわけです。そしてそうなってくるとむしろ、自分はほかの子とは違った色のランドセルをもちたい、そんな子どももC出てくるでしょう。

これこそが、まさに多様性社会の縮図です。つまり、ランドセルの色のように、それぞれの生き方や考え方をお互いが素直に認め合える社会こそが、本当に居心地のいい、幸せな社会、そしていざというときにも力を発揮する社会なのではないかと思うのです。

自分で考え、判断し、行動に移してこそ、社会は変わる

一方で、男の子は黒、女の子は赤、という暗黙の了解がある時代のほうが、保護者も子どもも楽だった、という面もたしかにあります。ランドセルの色を選ぶ際に、何も考えなくてもよいからです。ところが色の選択肢が増えてしまうと、そもそもどんな選択

股があるのかをよく調べて、その中で自分ほどの色が好きなのか、今後6年間つき合うランドセルは何色にするか……といろいろ考えなければなりません。けれども、この、自分で考えて選択する（実行する）、という行為こそ、私たちが「空気を読む」社会の中で失ってきたもののなのです。

「考えない」ことに慣らされてしまった多くの人は、男の子は黒のランドセル、女の子は赤のランドセルという空気に、なんの疑問もたず、なんとなくそれに従って、黒か赤のランドセルをもっている、そもそも、それ以外のほかの色のランドセルがあることなど考えたこともない、黒や赤のランドセルを自分自身もっていることに確固とした根柢はないのに、それ以外のランドセルをもっている子を「異端」として見ている、という状態にあります。そして本当はピンクのランドセルをもちたいのに、まわりと違う色を選ぶ勇気がなくて、しぶしぶ赤のランドセルをもっている、だから、ピンクのランドセルをもっている子がいたら、「私だってガマンしているのに、なんであの子だけ……」と嫉妬する——そんな人も実は確実に増えているのではないかと思えます。こうした内面の葛藤^④が生まれているのは若干の「進歩」かもしれませんが、それでも、

嫉妬だけでは「ランドセルの色の変化」という新しい世界は生み出せません。出た杭を打っただけでは、世界は変わらないのです。杭が飛び出ることを許ヨウするところまで、さらにもう一步、進む必要があります。

自分自身で考え、判断をする。 **D** そこまで来たのであれば、勇気をもって、その判断に従った行動に進みましょう。一人ひとりのその行動が、少しずつ社会を変えていきます。それは大海の一滴にすぎません。されど、最初の一滴から、すべての海は始まるのです。

誤解のないように繰り返しますが、私が言っていることは、常に人と違う行動をなさいということではありません。多数派と同じ判断をしたとしても、それが「空気を讀んだ」結果の判断なのか、それとも自分の頭で考えて下した判断なのか、そのどちらであるかで、その意味は大きく違ってきます。

（足立直樹『もう空気が読まなくていい ポスト3・11を生き抜くために』）

（注）異端……正統から外れていること

問一 線 a、c と同じ漢字を含むものを次のア、エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。また、その漢字を書きなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|----------|---|--------------------|---|------------------|---|----------------|
| a | コウ率 | ア | 作品を投コウする | イ | 菓の <u>コウ</u> 果 | ウ | 論文を参コウにする | エ | コウ外の住宅地 |
| b | セイ限 | ア | セイ服を着る | イ | お菓子 <u>を</u> セイ造する | ウ | 棚 <u>を</u> セイ理する | エ | 選手宣 <u>シ</u> イ |
| c | 許ヨウ | ア | 休ヨウが大切だ | イ | ヨウ稚園に通う | ウ | 必ヨウなものを買う | エ | 美ヨウ室を予約する |

問二 空欄 **A**、**D** に入る語句として適当なものを次のア、カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|------|---|-----|
| ア | なげ | イ | たとえ | ウ | せっかく | エ | まるで | オ | めったに | カ | きつと |
|---|----|---|-----|---|------|---|-----|---|------|---|-----|

問三 線①「多様性の価値を認めない社会」を、筆者はどのような社会だと言っていますか。本文中から十字程度で二つ抜き出して答えなさい。

問四 線②「それ」が指す内容を、本文中の語句を用いて二十五字以内で答えなさい。

問五 — 線③「多様性社会」について、

(1) 筆者が考える「多様性社会」に当てはまらないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の意見が少数派でも認められる社会
- イ 社会を構成する人々にとって負荷のない社会
- ウ 他者に対して自由に意見を言える社会
- エ 自分の存在理由を実感できる社会

(2) 「多様性社会」の心地よさをイメージするために、筆者は「小学生のランドセルの色」の事例を紹介しています。筆者は、ランドセルの色を選択できるようになった理由は何かと考えていますか。本文中から三十字程度で抜き出して答えなさい。

問六 — 線④「葛藤」とは「心の中に相反する動機・欲求・感情などが存在し、そのいずれをとるか迷うこと」という意味ですが、ランドセルの事例においてはどのような気持ちの間で葛藤していますか。本文中の語句を用いて二十五字以内で二つ答えなさい。

問七 筆者の意見として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 社会を構成するすべての人が、多様性を認めてどんな時でも思うままに行動することが大切である。
- イ 社会を構成するすべての人が、自己の存在意義を認識して他者と違う行動をすることが大切である。
- ウ 何か行動をする際には、他者に意見を求め、それを参考にして行動することが大切である。
- エ 何か行動をする際には、自分で考えて選択し、それに従って行動していくことが大切である。

問八 下に示すのは、五人の女子中学生が本文と「2021年入学の新1年生女子に聞いた！何色のランドセル使ってる？」という資料をもとに、自分たちの小学生時代を振り返って話し合った場面です。会話を

読んで生徒A～Eのうち、グラフの内容や筆者の主張に合っている生徒を一人選び、記号で答えなさい。

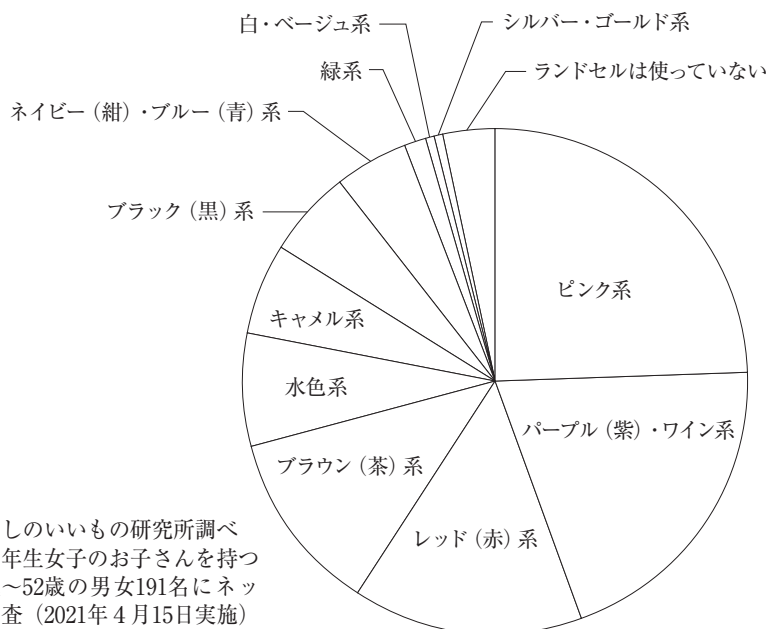
生徒Aさん — 今の小学生も赤系とピンク系のランドセルを選ぶ人が多数派だね。やっぱり筆者の言う通り、女子は赤系を選ぶのがいいのかな。

生徒Bさん — 紫もピンクに次いで多いね。私は赤色のランドセルを使っていたけれど、紫のランドセルを使っている子もいて、それはそれで認められるべきだよね。

生徒Cさん — 私は、グラフでは五番目に人気のある水色を選んだよ。でも、たくさん色があったから迷ってしまったし、色が増え過ぎるのはよくないよね。

生徒Dさん — そうだよな。グラフにも十色以上あるけれど、たくさん色があると考えるのが面倒だよな。だからみんな同じ色を使うべきだと本文でも主張されているね。

生徒Eさん — 紫系や茶系などの少数派だったとしても、私はみんなが好きな色のランドセルを持ってお互いに認め合える方がいいと思うよ。



※くらしのいいもの研究所調べ
新1年生女子のお子さんを持つ
29歳～52歳の男女191名にネット調査 (2021年4月15日実施)

2021年入学の新1年生女子に聞いた！何色のランドセル使ってる？

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

香音は南先生にピアノの指導を受けている。コンクールに出場するにあたり、母親は、香音がピアノに集中できるような環境を作ろうと意気込んでいた。しかし、予選敗退となり、その結果に母親は納得がいかず、取り乱す。その上、指導者の変更まで考えていることを知った香音は、親に内緒でレッスンを休んで、偶然見つけたオルゴール店に立ち寄った。

【1】

結局、店員さんに差し出された段ボール箱を、香音は両手で受けとった。どのみち、レッスンは終わる時刻までは家に帰れない。この炎天下、時間をつぶす場所もない。ただでけると親切に言ってもらっているのだから、厚意に甘えてしまおう。

「よかったら、こちらどうぞ」

店員さんが奥のテーブルをすすめてくれた。香音は椅子に腰かけて、オルゴールをひとつひとつ聴いてみた。底についているぜんまいを回すと音が鳴る。知っている曲もいくつかあったけれど、そうでないものの方が多かった。聞き覚えのないメロディーは耳にひっかからずに流れ去り、潔く消えていく。

透明な箱の中には、表面に細かいぶつぶつがついた円柱形の部品と、櫛の歯のようなかたちのひらいた部品が、隣りあわせに配置されている。円柱の突起が歯をはじき、音が出るしくみらしい。

ピアノみたいだ。思いあたり、反射的に目をそらした。なめらかに繰り返されていた旋律が、少しづつこちなく間延びして、ついにとまった。

先週、コンクールが終わってはじめてのレッスンで、南先生は心配そうに言った。

「香音ちゃん、大丈夫？ 音に、元気がなくなってる」

香音は絶句した。

「香音ちゃんは本当によくがんばったわ。がんばりすぎて、ちょっと疲れちゃったのかもね。無理しないで、しばらくゆっくりしてみたら？」

いたわるように、先生は続けた。

「誰もが一位になれるわけじゃない。ここはそういう世界だから。でも、一位になるためだけに弾くわけでもないのよ」

あれから一週間、香音はほとんどピアノを弾いていない。

どうしても、ピアノの前に座ろうという気分になれなかった。ピアノを弾きはじめて六年間、こんなことは一度もなかった。

全国大会に進めなかったから、落ちこんでいるわけじゃない。それでやる気を失くしたわけでも、自棄になっっているわけでもない。ただ、自分でも気づいてしまったのだ。わたしの音には元気がない。そんな音を響かせることも、誰かに聴かせることも、耐えられない。

この機会に別の先生に習ってみたらどう、と昨日お母さんに言われた。

黙って首を横に振っただけですませたのは、うまく伝えられる自信がなかったからだ。考えを言葉で言い表すのは、すごく難しい。音楽を使えば、と香音はいつもどこかしく思う。楽器でうれしい音や悲しい音を鳴らして伝えられたら、わかりやすく簡単なのに。

南先生は悪くない、と本当は言い返したかった。入賞できなかったのは先生のせいじゃない。わたしの力が足りなかった。だからこそ、がんばらなきゃいけないのに。がんばって練習して、上手になって、お母さんや先生を喜ばせたいのに。

「気に入ったもの、ありましたか」

店員さんから声をかけられて、香音はわれに返った。聴き終えたオルゴールが、テーブルの上にはばらばらと散乱している。

「すみません、ちよつとまだ」

香音は **A** してうつつむいた。気を散らしてばかりで、身を入れて選んでいないのがわかってしまっただろうか。ただで持っていいと気前よくすすめてくれたのに、気を悪くしたのかもしれない。

「少々、お待ち下さい」

無言で香音を見下ろしていた店員さんが、唐突に言った。

耳もとに手をやって、長めの髪をかきあげる。かたちのいい左右の耳に、透明な器具のようなものがひっかかっていることに、香音ははじめて気づいた。

彼は **B** と器具をはずし、テーブルの上に置いた。ことり、と軽い音がした。素材はプラスチックだろうか。めがねの端っこをぱつと切り落としたような、ゆるいカーヴのついたつるの先に、耳栓に似たまるい部品がくっついている。

変わった器具について見入っている香音を置いて、店員さんは棚のほうへ歩いていった。新たなオルゴールをひとつ手にとって、戻ってくる。

「これはいかがですか」

「自ぜんまいを回してみせる。流れ出したメロディーを聴いて、あつと香音は声を上げてしまった。」

「讚美歌？」

「ついさつき、教会でひさびさに思い返していた曲だった。聖歌隊の十八番で、日曜礼拝でたびたび伴奏したのだ。」

「安らかな日々だった。コンクールのことも、南先生のこと、知らなかった。鍵盤に指を走らせるのが、ただただ楽しかった。幼稚園の先生にも、友達やその親たちにも感嘆され、聖歌隊からは感謝され、礼拝の参列者の間でも評判だった。香音ちゃんのピアノは神様の贈りものだ、と園長先生は感慨深げに言ったものだ。大切にしない。その力はみんなを幸せにするからね。」

「オルゴールがとまるのを待って、香音は口を開いた。」

「これ、下さい」

「よかった。実は僕も、耳は悪くないんです」

「店員さんは目を細め、香音にうなずきかけた。」

「すごくいい音で鳴っている」

「いい音ね。不意に、南先生の声が香音の耳もとで響いた。ぎゅう、と胸が苦しくなった。」

「紙箱があるので、入れますね」

「店員さんが腰を上げた。耳の中でこだましている先生の声は気にしないようにして、香音も笑顔をこしらえる。」

「そこで突然、彼が眉をひそめた。」

「ん？」

「中腰の姿勢で **C** と見つめられ、香音はどきまぎして目をふせた。作り笑いが失敗していただろうか。」

「あともうひとつだけ、いいですか」

「香音の返事を待たずに、店員さんはせかせかと棚のほうへ歩いていく。」

【II】

「店を出ると、香音は急いで先生の家へ向かった。途中から、ほとんど駆け足になっていた。門が見えてきたときには汗だくで、息がはずんでいた。」

「そのまま駆け寄ろうとして、つんのめりそうになった。道の先に、香音に負けず劣ら

ず息をさらして走ってくる人影が見えたのだ。」

「香音！」

「見たこともないようなこわい顔をして駆けてきたお母さんは、立ちすくんでいる香音の前で仁王立ちになった。」

「香音は無言でうなだれた。足もとのくろぐろとした影が、穴みたいに見える。いっそ飛びこんでしまいたい。」

「どれだけ心配したと思ってるの？」

「頭の上から降ってきた声は、頼りなく震えていた。」

「^③香音はびっくりして顔を上げた。お母さんは怒っているというよりも、途方に暮れたような顔つきになっていた。」

「先生も心配してらしたわよ。今までどこにいたの？」

「香音がレッスンに来ないと電話を受けて、探しにきたらしい。」

「ごめんさい」

「ねえ、香音。ピアノ、弾きたくないの？」

「香音は目をみはり、お母さんを見上げた。」

「さつき、電話で先生と少しお話ししたの。ちょっとお休みしてもいいんじゃないかって。先週、香音ともそういう話をしたんだって？」

「お母さんが膝を折って香音と目線を合わせた。」

「お願い。正直に教えて。お母さん、怒らないから。香音のやりたいようにやってほしいと思ってる」

「肩からかけたかばんを、香音は手のひらで軽くなでた。底のほうがぼこりとふくれているのは、角ばった紙箱のせいだ。」

「店員さんが新しく棚から出してきてくれたオルゴールを聴いて、香音は息をのんだ。」

「バッハでも讚美歌でもない、けれどよく知っている曲が、またもや流れ出したのだった。」

「ピアノを習っておられるんですか」

「店員さんは優しい声で言った。」

「はい」

「でも、と言いつつ足すなんて、ふだんの香音なら考えられないことだった。見ず知らずのおとなに、個人的な打ち明け話をするなんて。」

「このひとになら、わかってもらえるのではないかと思ったのだ。香音の胸の奥底で響いている音楽をみごとに聴きとってみせた、彼になら。」

コンクールで落選したこと、ピアノを弾く気力を失っていること、今日レッスンをすっぱかしてしまったことまで、つかえつつかえ話した。店員さんはなにも言わずに耳を傾けてくれた。それから、ふたつのオルゴールをテーブルに並べ直した。

「どちらでも好きなほうを、どうぞ」

香音は左右のオルゴールを見比べた。洗いざらい話したせい、いくらか心は軽くなっていた。

深く息を吐き、耳をすます。

「こつちを下さい」

新しく出してもらったほうを、指さした。店員さんが満足そうに目もとをほころばせ、香音を選んだオルゴールを手にとつて、ぜんまいを巻いた。

素朴なバイエル(註)の旋律が、香音の耳にしみとおった。

紙箱に入れてもらったオルゴールをかばんにしまうと、香音はお礼もそこそこに店を飛び出した。無性にピアノを弾きたかった。一刻も早く鍵盤にさわりたくてたまらなかつた。

お母さんの目をじっと見て、香音は口を開く。

「わたし、ピアノを続けたい」

問一 〳〵線 i 「厚意に甘えて」、ii 「われに返った」の意味として適当なものをア～エからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

i 「厚意に甘えて」 ア 相手の優しさに付け入って

ii 「われに返った」 ア 相手の気遣いを当たり前として

イ 相手の本心に気づかないふりをして

ウ 相手が思いやりを受け取って

エ すぐに反省した

オ そつと確認した

問二 空欄 A C に入る語句として適当なものを次のア～カからそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア ひやひや イ くらくら ウ しげしげ エ すごすご オ てきばき カ わなわな

問三 線①「反射的に目をそらした」とありますが、このときの香音の心情として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア やましさと警戒 イ 後ろめたさと逃避 ウ むなしさと失望 エ 恥ずかしさと後悔

誰もが一位になれるわけじゃない。先週、南先生は香音にそう言った。ここはそういう世界だから。でも、一位になるためだけに弾くわけでもないのよ。

あのときは、ただ香音を慰めようとしているのだと思つた。でもたぶん、そうじゃない。先生は純粹に、事実をありのまま伝えてくれていた。

「もつとうまくになりたいの」

そしてもう一度、いい音を取り戻したい。

先生の言う「そういう世界」に飛びこもうと、香音は自分で決めたのだ。いい音ね、とあの日ほめてもらった瞬間に。

「わかつた」

お母さんが香音の頭をひとなでして、腰を伸ばした。

「じゃあ、一緒に先生に謝ろう」

香音はお母さんと並んで、門へと足を踏み出した。どこからか、バイエルの調べが聞こえてくる。

(瀧羽麻子『ありえないほどうるさいオルゴール店』)

(注) バイエル……ピアノの入門用演奏教本

問四 — 線②「香音はほとんどピアノを弾いていない」とありますが、その理由を説明した次の文章の空欄（X）・（Y）に当てはまる文をそれぞれ答えなさい。
コンクールに入賞できなかったのは先生のせいではなく、（ X ）であり、ピアノを続けたいが、（ Y ）ということに気づいて弾く気にならなかつたから。

問五 本文【Ⅱ】には香音の回想シーンが挿入されています。その部分を本文中から抜き出し、最初と最後の八字をそれぞれ答えなさい。

問六 — 線③「香音はびっくりして顔を上げた。」とありますが、その理由として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 南先生よりも先に母親に会うとは思っていませんでした。
- イ 母親がピアノを休んでいいと思っただけのことから。
- ウ 母親の反応が自分が予想していたものと違っていたから。
- エ 怖い顔の母親の表情がいつの間にか変わっていることに気づいたから。

問七 — 線④「門へと足を踏み出した」という表現から感じられる香音の心情を、二十字程度で説明しなさい。

問八 本文の登場人物である「店員さん」は本文中でどのような役割を果たす人物として描かれていますか。その説明として最も適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 香音がピアノをやめようとしていることに気づき、音楽のすばらしさを思い出させてくれた人物。
- イ 香音の気持ちの変化を的確に読み取り、彼女の今の気持ちを癒すオルゴールを選んでくれた人物。
- ウ 香音が母親に対して持っていたわだかまりの気持ちを解きほぐす助言をしてくれた人物。
- エ 香音の気持ちを尊重しつつ、彼女が自分で進む方向を決めるきっかけをつくってくれた人物。

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

本文は、大宅世継という人物によって語られる形式を取っており、【I】は昔話の内容、【II】はその話を受けた語り手の解釈となっています。

【I】

おほかた、この九条殿、いとただ人にはおはしまさぬにや。おぼしめしよる行く末のとても普通の人ではいらしやらない。あれこれとお思ひになる将来の

ことなども、^①かなはぬはなくぞおはしましける。^②口惜しかりけることは、まだい

と若くおはしましける時、「夢に朱雀門の前に、左右の足を西東の大宮（通り）に

さしやりて、北向きにて、内裏を抱きて立てりとなむ見えつる」と仰せられけるを、

御前になまさかしき女房の候ひけるが、いかに御股痛くおはしましつらむと申したり殿の前に利口な女房が控えていたのだが
いらしやうなことでしようか

けるが、御夢違ひて、かく御子孫は栄えさせ給へど、摂政・関白しおはしまさずなり
このように
なすべしことかできさない

にしなり。また、御末も思はずなることのうちまじり、（ひ孫の）帥殿の御ことなど
子孫

も、かれが違ひたる故に侍り。

【II】

「いみじき吉相の夢も、あしざまに合はせつれば違ふ」と、昔より申し伝えて侍るこ
すばらしい
悪いように判断してしまつと

となり。荒涼して、^③心知らざらむ人の前に、夢語りな、この聞かせ給ふ人々、しおは

油断して 思慮分別のない人 夢の話をしてお聞きの人々はなすうては

しまさざれ。
いけませんよ

（『大鏡』）

（注1）朱雀門……平安京の門の一つ

（注2）内裏……天皇の住まい

問一 〰〰〰線i「末」は「すゑ」、ii「給へ」は「たまへ」と読みます。それぞれ現
代かなづかいに直して全てひらがなで答えなさい。

問二 〰線①「かなはぬはなくぞおはしましける」に使われている法則は何です
か、答えなさい。

問三 〰線②「口惜しかりけること」の意味として、最も適当なものを次のア
エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 許せないこと
- イ 嬉しいこと
- ウ 残念なこと
- エ ありがたいこと

問四 〰線③「心知らざらむ人」は、【I】では誰のことを指しますか。次のア
エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 九条殿
- イ 女房
- ウ 御末
- エ 帥殿

問五 【Ⅰ】にはもう一カ所、会話文として成立する箇所があります。その部分を本

文中から抜き出し、最初と最後の三字をそれぞれ答えなさい。

問六 本文の内容に関して次の問いに答えなさい。

(1) 九条殿が摂政・関白になれなかったのはなぜですか。その理由として最も
適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 夢は簡単に叶うものではないから
- イ 夢のお告げを信じなかったから
- ウ 夢を信じて努力をしなかったから
- エ 夢の判断が間違っていたから

(2) 【Ⅱ】において語り手が言いたいことは何ですか。最も適当なものを次の

- ア～エから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 全ての夢はお告げだといえる
- イ 夢の解釈は慎重にするべきである
- ウ 夢で見たことは全て現実になる
- エ 真剣に願えば望んだ夢が見られる

令和 5. 1. 20 実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

数 学

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。
6. 円周率は π で表します。
7. 答えに無理数が含まれるときは $\sqrt{\quad}$ の中を最も小さい整数とします。

受 験 番 号	氏 名
番	

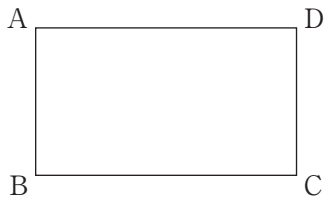
1

次の問いに答えなさい。

- (1) $-6 \div (-2) + 7$ を計算しなさい。
- (2) 0.125×16 を計算しなさい。
- (3) $(-ab)^3 \times \frac{1}{a^4 b^4} \div \frac{a}{b^2}$ を計算しなさい。
- (4) $\sqrt{50} - \sqrt{48} - \sqrt{8} + \sqrt{27}$ を計算しなさい。
- (5) 1でも素数でもない自然数を合成数といいます。合成数の素因数の各位の数の和が、もとの合成数の各位の数の和に等しい場合、この合成数をスミス数といいます。
- 例えば、合成数85について、素因数は5と17ですから合成数85の素因数の各位の数の和は $5 + 1 + 7 = 13$ です。また、合成数85の各位の数の和は $8 + 5 = 13$ です。このことから、合成数85はスミス数です。
- 下の5つの合成数のうち、スミス数をすべて選んで答えなさい。
- 6, 22, 35, 77, 265
- (6) 二次方程式 $x^2 - (a + 4)x - 6a = 0$ の解の1つが $x = -1$ であるとき、他の解を求めなさい。
- (7) 関数 $y = -\frac{1}{4}x + 2$ について、 x の値が -3 から 1 まで変わるとき、 y の増加量を求めなさい。
- (8) 4枚のカード $\boxed{1}$, $\boxed{2}$, $\boxed{3}$, $\boxed{4}$ を横1列に並べて4けたの整数をつくります。この整数のうち、小さい方から10番目は何か答えなさい。

(9) 正 n 角形の 1 つの外角は 45° です。 n の値を求めなさい。

(10) 下の図のような長方形 ABCD において、頂点 A が頂点 C に重なるように折り曲げます。折り目は線分 の 上にできます。(ア), (イ) にあてはまる組み合わせとして適切なものを、次の ① ~ ④ から 1 つ選び、番号で答えなさい。



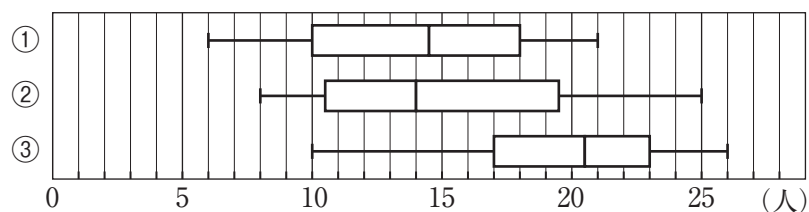
- ① (ア) BD (イ) 二等分線
- ② (ア) AC (イ) 垂直二等分線
- ③ (ア) BD (イ) 垂直二等分線
- ④ (ア) AC (イ) 二等分線

2

ある中学校の2年生は、全部で12クラスです。また、どのクラスにも30人ずつの生徒が在籍しています。この中学校では、各クラスで身近なSDGsへの取り組みについての話し合いが行われています。はなさんのクラスは、2年生12クラスを対象に「エコバッグ」「マイボトル」「マイ箸^{はし}」の3つの物品の使用状況について調査をすることになりました。次の表は、この3つの物品を普段カバンに入れている生徒の人数をまとめたもので、箱ひげ図は3つの物品の調査結果を表したものです。

下の問いに答えなさい。

クラス(人)	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組	9組	10組	11組	12組
エコバッグ	(ア)	15	8	11	23	25	13	18	10	21	14	9
マイボトル	19	20	15	24	21	23	10	26	18	(イ)	22	16
マイ箸	6	18	14	6	15	20	9	12	16	18	21	11



(1) 「エコバッグ」「マイボトル」「マイ箸」の箱ひげ図を、①～③から1つずつ選び、それぞれ番号で答えなさい。

(2) 箱ひげ図を見て、上の表の(ア)、(イ)にあてはまる数を求めなさい。

(3) 「マイ箸」の使用人数の平均値を求めなさい。ただし、四捨五入して小数第一位までとします。

- (4) はなさんは、箱ひげ図から、次のように自分の考えをまとめました。次の(i)~(iv)のうち、誤っているものを2つ選び、記号で答えなさい。また、その正しい語句または数をそれぞれ書きなさい。



はなさん

四分位範囲が大きいほど、データの散らばりは_(i)大きいと授業で習っています。このことから、データの散らばりがもっとも小さいのは_(ii)②の箱ひげ図です。③の箱ひげ図から読み取れることを考えると、中央値から、この物品を20人以上使用しているクラスは_(iii)8クラス以上です。また、第1四分位数から、この物品を16人以下が使用しているクラスは全体の_(iv)25%以下です。

3

太郎さんと花子さんがコイン投げゲームで遊んでいます。コイン投げゲームには、次の3つのルールがあります。

ルール① コインの表が出たら x 点、裏が出たら y 点の得点がもらえる。

ルール② 太郎さんと花子さんは、コインをそれぞれ同じ回数ずつ投げる。

ルール③ 合計得点の多い方を勝ちとする。

次の会話は、太郎さんと花子さんがゲームをしているときの会話です。



太郎「1戦目は、 $x = 3$ 、 $y = 1$ として、コインを10回ずつ投げましょう。」

(それぞれ10回ずつ投げる)



花子「わたしは、表が4回、裏が6回出たので、合計 点でした。」



太郎「わたしは、表が 回出たので、合計16点でした。花子さんの勝ちですね。」



花子「2戦目は、20回ずつ投げましょう。」

(それぞれ20回ずつ投げる)



太郎「わたしは、表と裏がちょうど10回ずつ出て、合計得点は50点でした。」



花子「わたしは、表が裏の3倍の回数出たので、合計得点は45点でした。太郎さんの勝ちですね。」

上の会話を読んで、次の問いに答えなさい。

- (1) (ア)、(イ)にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。

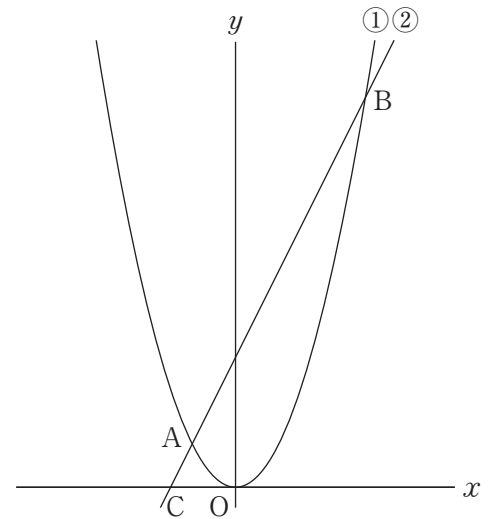
(2) 2戦目のゲームについて、コインの表が出たときの得点 x と、裏が出たときの得点 y をそれぞれ求めなさい。

(3) 3戦目は $x = 3$, $y = -2$ として、コインを10回ずつ投げると、太郎さんの合計得点は0点となり、花子さんに負けました。このとき、花子さんは10回のうち表を何回以上出したか答えなさい。

4

右の図のように、関数 $y = x^2 \cdots \textcircled{1}$ 、一次関数 $y = 2x + 3 \cdots \textcircled{2}$ のグラフがあり、 $\textcircled{1}$ 、 $\textcircled{2}$ のグラフの交点を A, B とします。点 A, B の x 座標はそれぞれ -1 , 3 です。

次の問いに答えなさい。



- (1) 直線 $\textcircled{2}$ のグラフと x 軸との交点を C とするとき、点 C の座標を求めなさい。

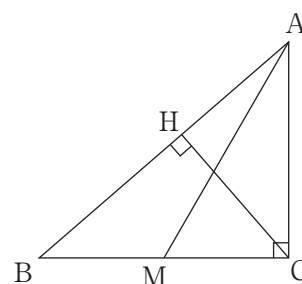
- (2) $\triangle OAB$ の面積を求めなさい。

- (3) 点 A, B から x 軸に下ろした垂線と x 軸との交点をそれぞれ D, E とします。四角形 ADEB について、 x 軸を軸として一回転させてできる立体の体積を求めなさい。

- (4) 放物線 $\textcircled{1}$ 上に、3 点 O, A, B とは異なる点 P をとります。点 P を通り、線分 AB に平行な直線と x 軸との交点を Q とします。四角形 ABPQ が平行四辺形となるような、点 P の y 座標を求めなさい。

5

(図 I) のような直角三角形 ABC において、辺 BC の中点を M、頂点 C から辺 AB に垂線を下ろしたときの交点を H とします。また、 $AB = \sqrt{7}$ 、 $BC = 2$ 、 $CA = \sqrt{3}$ 、 $AM = 2$ 、 $\angle AMC = 60^\circ$ です。
次の問いに答えなさい。



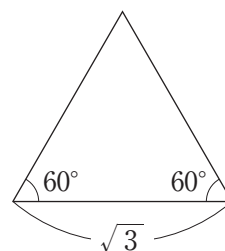
(図 I)

(1) $\triangle ABC$ と相似な図形を、下のア～エからすべて選び、記号で答えなさい。

ア. $\triangle ACH$ イ. $\triangle AMC$ ウ. $\triangle CBH$ エ. $\triangle AMB$

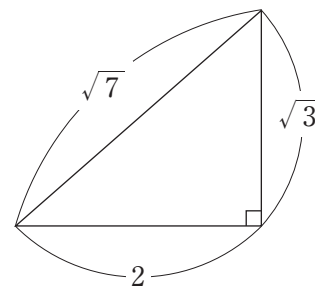
(2) 線分 CH の長さを求めなさい。

(3) 右の (図 II) ~ (図 IV) のような三角形があります。



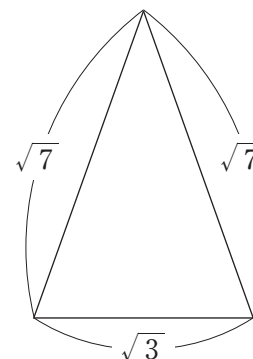
(図 II)

① $\triangle AMC$ の辺の長さの比を用いて、(図 II) の三角形の面積を求めなさい。



(図 III)

② (図 I) ~ (図 IV) の三角形を 4 つの面とする三角錐をつくります。
この三角錐の体積を求めなさい。



(図 IV)

令和5.1.20実施

精華女子高等学校 専願入学試験問題

英 語

特別進学コース

受験上の注意

1. 試験開始の合図があるまでこの問題冊子の中を見てはいけません。
2. 制限時間は50分です。
3. 解答用紙はこの冊子の間にはさんであります。
4. 解答用紙には受験番号・氏名を記入してください。
5. 退室するときは、机の上に解答用紙を裏返して置き、その上に問題冊子を重ねてください。

受 験 番 号	氏 名
番	

1

リスニングテスト（放送の指示に従って答えなさい。）

(A) これから読まれるミカのスピーチを聞き、それに関する3つの質問に答えなさい。

(Question 1), (Question 3) は、答えが完成するように下線部または空所に入る適切な英語を答えなさい。

(Question 2) は、解答として最も適切なものを、下のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

(Question 1)

He is _____.

(Question 2)

ア By the window in Mika's room.

イ At the door.

ウ On a tree in the park near her house.

(Question 3)

By () to her by her ().

(B) 次に読まれるメグのスピーチを聞き、それに関する2つの質問に答えなさい。(Question 1) は、答えが完成するように空所に入る適切な英語を答えなさい。(Question 2) は、解答として最も適切なものを、下のア～ウから1つ選び、記号で答えなさい。

(Question 1)

It takes a () () to climb up the mountain.

(Question 2)

ア It is to get on a ship.

イ It is to see the sunset.

ウ It is to enjoy the fresh air.

2 次の1～5について、()内のア～ウから最も適切なものをそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

1. Bill doesn't (ア able イ going ウ have) to do the work.
2. I think we should help each (ア other イ others ウ another).
3. A : I'm sure Lucy will pass the exam.
B : I think (ア no イ so ウ later), too.
4. A parent's brother is (ア a cousin イ an aunt ウ an uncle).
5. She is old enough (ア to travel イ traveling ウ traveling to) alone.

3 次の1～3について、日本語の意味を表す英文になるように、()に入る適切な語を答えなさい。

1. 彼はネコを探しています。
He is () () his cat.
2. そのかごはリンゴでいっぱいです。
That basket is () () apples.
3. 彼女はテレビを見つけました。
She () () the TV.

4 次の1～5の()内の語句を並べかえて、()の中で2番目と5番目にくるものを、それぞれ記号で答えなさい。ただし、()の中で文頭にくる語も小文字で示している。

1. Saki (ア six イ studied ウ four エ from オ this カ to) evening.
2. (ア me イ you ウ to エ tell オ could カ the way) the museum?
3. Did you (ア bed イ dinner ウ to エ without オ go カ eating) last night?
4. (ア like イ you ウ of エ would オ cup カ another) tea?
5. Please (ア as イ after ウ possible エ me オ as soon カ call) you get home.

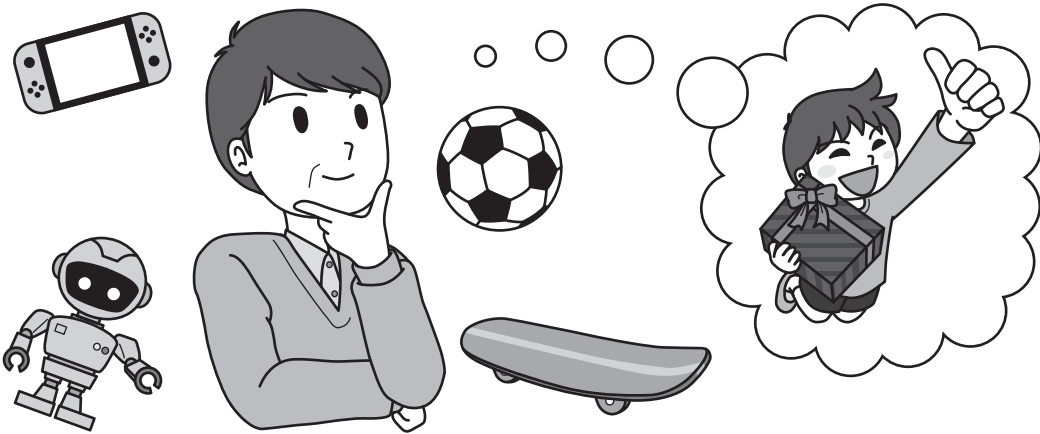
5

次の各問いに答えなさい。

1. 次のイラストを見て、英文を書きなさい。ただし、以下の条件にしたがうこと。

条件1 The man で書き始め、文中に his son を必ず使用し、10語以上の英語を用いること。ただし、2文以上になってもかまわない。

条件2 文末は「.」で終わり、符号は語数に含めない。



2. あなたの学校は、最寄りの駅からバスでは5分、歩くと15分かかる。普段の通学手段として、駅から学校まで「バス」と「徒歩」どちらを選ぶか。次の Question に対するあなたの考えを解答欄に合わせ、英文で書きなさい。ただし、以下の条件にしたがうこと。

Question : Which do you like better, taking a bus or walking to school? And why?

条件1 最初の文は、I like better. を用いること。

条件2 最初の文を含めずに、10語以上の英語を用いること。ただし、2文以上になってもかまわない。

条件3 文末は「.」で終わり、符号は語数に含めない。

Language Death

There are about seven thousand languages in the world. (a) you are surprised, but the number is going down at a very fast pace. Why is this happening, and what is the problem?

People stop using their own languages for some reasons. One of them is that young people have to use *major languages such as English, Spanish and Chinese. (b), they need to learn and use them to get a job. In some countries, people who speak different languages work together. In such cases, popular languages such as English and Spanish are chosen as common languages. ⁽¹⁾ *Moreover, a lot of international companies use English to work with foreign partners. People who speak *minor languages are trying to *preserve their own words, but (a chance / difficult / for / have / is / it / them / to) to use their languages in their daily lives. As a result, ⁽²⁾ minor languages are *disappearing.

Then, what is the problem of language death? There are many kinds of cultures and people in the world. They have exchanged their *lifestyles with others for hundreds of years, and it has created our society. Of course, language is one of the most important parts of culture. (c), about 230 languages have disappeared since 1950. If we lose these words more, we can say we will lose a part of the world. We must stop it to keep the world ⁽³⁾ colorful and interesting.

Modern people have killed many languages for their *convenience. The world has become comfortable, but we have lost something important in the process.

(注) major : 多数派の moreover : そのうえ minor : 少数派の preserve : 守る
 disappear : 消える lifestyle : 生活様式 convenience : 利便性

1. (a) ~ (c) に入る最も適切な語を次のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア For example	イ Especially	ウ However	エ Maybe
---------------	--------------	-----------	---------

2. 人々が言葉を失っていく主な原因の1つとして筆者が本文中で述べているものを次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世界の人口が減り、その言葉を話す人が減少しているから。
- イ それぞれの国が自分の国の言葉を広めようとしていないから。
- ウ 英語などの主要な言語を使用する必要性が高まっているから。
- エ 現代の若者は古い言葉に興味がないから。

3. 下線部(1)の「そのような場合」とはどのような場合か、解答欄に合うように日本語で答えなさい。

4. 下線部(2)が次の意味になるように () 内の語句を並べかえなさい。

「彼らにとって、日常生活で自分たちの言語を使う機会を持つのは難しい。」

5. 下線部(3)を訳しなさい。

6. 本文の内容に合うものを次のア～キから3つ選び、記号で答えなさい。

- ア 世界には約700の言語がある。
- イ 世界にある少数派の言語は急速に失われつつある。
- ウ 国際的な会社の多くは、英語を使って外国の取引相手と仕事をしている。
- エ 少数派の言語は国際社会での就職において有利である。
- オ 今の社会は人々の長い文化交流が作り上げた。
- カ 言語は文化とは分けて考えられるべきである。
- キ 現代人は利便性のために新しい言葉を創ってきた。